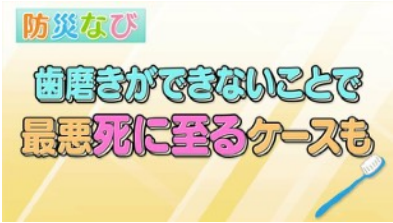
ニコないつうしん4月号 2024年 Vol.194

「死に至ることも…」災害時の“口腔ケア”支援に携わった
歯科医3人からの切なる願い【能登半島地震】

今月はTBS NEWS DIGさんの記事を紹介します。
https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/993635

災害時は歯みがきなどの“お口のケア”にとっても難しい環境になります。
ところが「口腔ケア」をしないと死に至ることもあるそうです。



新潟県歯科医師会の、穂苅雅人医師・佐藤圭一医師・神成庸二医師にお話を伺いました。3人は1月22日から1週間、能登半島地震で甚大な被害を受けた石川県輪島市で活動していました。

【新潟県歯科医師会　神成庸二常務理事】
「行くまでの道が非常に状態が悪かった。それは想像以上でしたし、初日に心が折れそうなくらいショックを受けた」

被災地で3人が行っていたのが、歯磨きや入れ歯の掃除といった『口腔ケア』の支援です。日本災害歯科医師チーム(JDAT=ジェイダット)の一員として、延べ200人を診察したということです。

【新潟県歯科医師会　穂苅雅人理事】
「一番の問題は、水が使えない。そうすると衛生状態が悪くなりますので…」

口腔ケアができていないと、インフルエンザ新型ウイルスといった感染症や肺炎などを発症し、最悪の場合は死に至ることもあるのです。

【新潟県歯科医師会　佐藤圭一専務理事】
「寝ている間に口の中のばい菌が、唾液と共に知らず知らずに気管から肺の中に入って、通常だとそんなことは起こらないが、元々抵抗力のない避難者だと肺炎誤嚥性肺炎を引き起こしちゃう」

実は、1995年に発生した阪神・淡路大震災における「災害関連死」で一番多かった死因は“肺炎”で、およそ4分の1を占めていました。地震や津波から生き延びても、口のケアができていなかったがために、命を奪われることがあるのです。

詳しくは左上のURLよりWebでご覧ください。

2024/04

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3 休診	4	5	6 17時まで
7	8	9	10 休診	11	12	13 17時まで
14	15	16	17 休診	18	19	20 17時まで
21	22	23	24 休診	25	26	27 17時まで
28	29 昭和の日	30				

ないとう歯科医院 新潟市東区物見山2-35-19 TEL:025-270-2218 http://www.naito-dental.com